

2013年7月31日

各 位

味の素製薬株式会社

潰瘍性大腸炎治療薬AJG501の開発中止について

味の素製薬株式会社(社長:長町 隆、本社:東京都中央区、以下、味の素製薬(株))は、このたび、潰瘍性大腸炎治療薬AJG501(開発コード)の開発中止を決定しましたのでお知らせいたします。

本剤は、2008年4月に、ドクター・ファルク・ファーマ社(以下、「ファルク社」、ドイツ)よりライセンスを受けることに合意した、5-アミノサリチル酸(5-ASA)の1日1回製剤であり、遠位を含めた大腸全体において5-ASAを放出するように設計されています。本剤は、ドイツおよび他の欧州等、各国ではSalofalk® Granu-Stix®の販売名でファルク社が販売し、潰瘍性大腸炎の活動期の治療および寛解維持に使用されています。

味の素製薬(株)は、ライセンス契約により本剤を日本において独占的に開発、製造、および販売する権利をファルク社より取得しました。しかし、治験の結果、医薬品としての承認要件を満たすことは極めて困難であり、開発を中止するとの判断に至りました。

当社は、今後の開発パイプライン強化に向けて、引き続き、消化器疾患領域、特に炎症性腸疾患(IBD)領域の開発を加速するとともに、自社研究、導入・アライアンスを推進してまいります。

【本件の問い合わせ先】 味の素製薬株式会社 経営企画部
TEL:03-6280-9802 FAX:03-6280-9912